

第一工業製薬グループ「サステナビリティ推進基本方針」

1. 基本方針

第一工業製薬グループは、社是「産業を通じて、国家・社会に貢献する」のもと、サステナビリティに関する重要課題と向き合い、人々の環境や暮らしを守り、安全・快適性を高めるため、「こたえる、化学。」を追求し、持続可能な社会の構築に貢献します。

ステークホルダーとの積極的な対話を通じて相互信頼関係を築き、持続的な成長と企業価値向上を目指すことで、社会から信頼される企業であり続けます。

2. 重要課題への取り組みとバリューチェーンでの推進

当社の事業活動が環境・社会に与える影響を認識し、持続可能な社会の実現に貢献するため、バリューチェーン全体で以下の重要課題に取り組みます。

(1) 環境

地球環境の保全を経営の重要課題と位置づけ、気候変動の緩和・適応（GHG 排出量削減）、資源循環（水資源・廃棄物）、汚染防止、生物多様性保全に継続的に取り組み、製品のライフサイクル全体を通じて環境負荷の低減に努めます。

(2) 人権と労働

国際的な人権規範に基づき、人権デュー・ディリジェンスを実施します。児童労働・強制労働の禁止、差別の撤廃、結社の自由と団体交渉権の尊重、労働安全衛生の確保など、すべての人の人権を尊重します。

(3) 企業倫理

各国・地域の法令および国際規範を遵守し、高い倫理観と誠実さをもって事業活動を行います。贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、公正な取引を徹底するとともに、機密情報の適切な管理に努めます。

(4) サステナブル調達

取引先に対し、当社のサステナビリティに対する取り組みへの理解を求め、環境、人権、倫理に配慮した責任ある調達を実施します。サプライチェーン全体で協働し、持続可能なバリューチェーンを構築します。

3. 推進体制と社員への啓発

本方針に基づき推進体制を整備し、社員一人ひとりがサステナビリティを実践できるよう、重要課題に関する教育・啓発活動を継続的にを行います。

本方針は、2025 年 12 月の取締役会で承認されています。

2025 年 12 月 24 日
第一工業製薬株式会社
代表取締役社長 山路 直貴